

# 鶴見区在宅医療連携拠点 横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター拠点 謹賀新年号

新年あけましておめでとうございます。

鶴見区在宅医療連携拠点「さわやか相談室」が設置されてから9年。医療と介護が連携して包括的な在宅医療の提供を目的に活動を続けております。コロナ禍で集会開催してきた事業が、一時オンライン活用を主体とした運営になっていましたが、令和5年5月から新型コロナウイルスの類型が5類分類に変更され、世の中が慌ただしく以前の形に戻ろうとしています。

今年の干支は「辰」！

辰年は「陽の気が動いて万物が振動するので活力旺盛になって大きく成長し整う年」だそうです。在宅医療連携拠点もそれにあやかっ、事業計画のアイデアがあふれるように沸きだし、世の中の流れの速さに、流されることなく、どこまでを許して良いのかを、変化にあわせて、

かつ慎重に考えながら事業計画をしていきます。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

管理者 鈴木 志律江

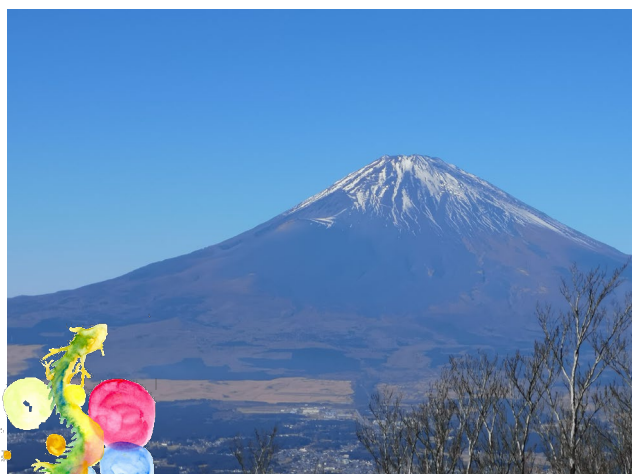


2023年度 鶴見区在宅医療連携拠点「さわやか相談室」相談実績 (11月まで)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
総相談	30+1	16+1	24+1	28	27	28	25	32	210+3
東部病院 対面相談	19+1	8+1	8+1	16	10	9	7	12	89+3

2023年度 横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター相談実績 (11月まで)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
新規	2	1	11	10	4	0	4	4	36
継続	3	1	1	4	2	3	1	0	15
合計	5	2	12	14	6	3	5	4	51



壮大で透き通った一年に  
なりますように

(一社)鶴見区医師会在宅部門  
鶴見区在宅医療連携拠点「さわやか相談室」  
〒230-0051

横浜市鶴見区鶴見中央3-4-22 3F

電話：045-503-1289 FAX：045-503-1266

横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター拠点

電話：070-2628-1077 FAX：045-716-8606



# ～ 2023年度の事業紹介 ～

第19回 つるみ在宅ケアネットワーク公開勉強会(一般市民向け)  
R5.11.18 14:00～16:00 (zoomにて)

認知症をいきるひとの意思決定支援をめぐって

～さまざまな人生をくぐりぬけて来られた方々から教わったこと～

## 第1部 基調講演

参加者:88名

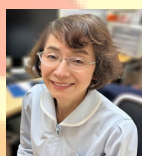
講師:後藤 淳氏

済生会横浜市東部病院 院長補佐  
脳神経センター 神経内科部長

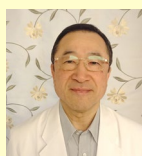


総合司会:  
佐藤医院 院長 佐藤 忠昭氏

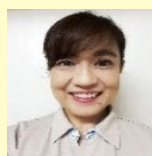
## 第2部 シンポジウム



座長:宮下クリニック  
院長 宮下 裕子氏



渡辺医院  
院長 渡辺 雄幸氏



平和会在宅支援センター  
ひなたぼっこ  
管理者 竹内 あかね氏



ハートプラスケアプラン鶴見  
管理者 山田 伸子氏



うしおだ老健やすらぎ  
施設長 窪倉 孝道氏

2月10日開催です!  
ご参加お待ちしております。

イエローノート

令和5年11月末まで  
A5 687冊  
A4 3890冊  
配布しています



### グリーンケア講演会のお知らせ

今年もZoom活用のオンライン形式で、グリーンケアに関する講演会を開催します。講師は、「在宅ホスピス」という仕組み(新潮選書)の著者である山崎 章郎先生です。ケアタウン小平開設以来取り組んでこられた、ご遺族に対する支援のあり方や、意義付け、具体的な実際の様子をお話しいただきます。講演の後に、皆さまからのご質問にお答えいただく形で企画しております。今、まだ癒えぬ悲嘆と向き合っている方、関わり寄り添っている方、携わっている方、この講演で学びやヒントが得られたら幸いです。

講師: <sup>やまざき ちかお</sup>山崎 章郎先生  
ケアタウン小平クリニック 名誉院長  
テーマ: 「在宅ケアにおけるご遺族への支援」  
～小平ケアタウンチームの取り組み～

司会: 平和病院 高橋 修先生

[日時] ▶▶ 2024年 2月10日(土) 14:00～15:30

[申込み] ▶▶ 事前登録によるWebセミナー (ZOOMにて)

[対象者] ▶▶ 一般市民・専門職

(現職) 2005年 在宅診療専門診療所ケアタウン小平クリニック開設、院長  
2022年6月 医療法人社団悠翔会ケアタウン小平クリニック 名誉院長

(経歴) 1975年 千葉大学医学部卒業、千葉大学医学部附属病院 第一外科勤務。その後千葉県八日市場市(現現境(とうさ)市)市民病院 消化器科医長を経て、聖ヨハネ会桜町病院ホスピス科部長。

(著書) ・「病院で死ぬということ」主婦の友社 1990 のち文春文庫  
・「僕が医者として出来ること」講談社 1995 のち文春文庫  
・「僕のホスピス1200日 自分らしく生きるとのこと」海電社 1995 のち文春文庫  
・「家で死ぬということ」海電社 2012  
・「在宅ホスピス」という仕組み 新潮社 2018  
・「ステージ4の緩和ケア医が実践する がんを悪化させない試み」新潮社 2022 他多数



メールアドレス: [zaitaku@sawayaka-tsurumi.jp](mailto:zaitaku@sawayaka-tsurumi.jp)

※上記アドレスに 下記必要事項を記載の上、お申込みください。

1. ご芳名 2. 住所又は事業所名 3 TEL 4. メールアドレス

申込みメ切: 2024年 1月 26日(金)まで

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

鶴見区医師会 在宅部門 担当: 鈴木

TEL: 045-503-1289

### 「ハナミズキの会」

医師歯科医師会館を借りて活動再開しました! 久しぶりの再会に皆さん喜ばれていました。



ほからが教室

R.5.9.15

参加者:70名

今年も鶴見市場ケアフラゲで  
集会型で開催。  
雨にも関わらず好評でした。

